



【今月のTOPICS】

- ◇今月の所長コラム『お客様の心をつかむマーケティング』
『今月の言葉』『お仕事備忘録』『編集部より』
- ◇2P～3P『インターン卒業生にインタビューしてみました!』
- ◇『インターンシップ生が卒業しました』
『facebookより』『未来そうごう塾より』

【発行者】

長田会計事務所
大阪市中央区徳井町2-2-9-701
TEL 06-6944-2111
FAX 06-6944-2110
MAIL nagata@office-smile.jp
HP <https://office-smile.jp/>

【編集部】

編集長 遠藤 悦代
部員 木下 心路
白岡 美奈
発行責任者 長田 雅子

お客様の心をつかむマーケティング

新型コロナに対応するため、「資金繰りは借入で賄ったけれど、今までと同じ販売方法では会社が立ち行かない」と考えられている方も多いのではないのでしょうか。販売の視点を変えるのが「マーケティング」です。

マーケティングとは、自社の商品やサービスについて「何を」「誰に」「どこで」「どのように」「いくらで」売られるのかを考え、購買行動やサービス利用に働きかけることです。販売の目的や目標をはっきりさせてから販売方法を考えると、しっかりと売れる仕組みができます。借入返済の据置期間が終了し返済が始まる時には資金が必要です。そして資金を残すには利益を出すことが必要になります。利益は売上＝販売から生まれます。

販売の視点を変えるためには、自社が持っているマーケティング資源は何かを把握することです。「人」「モノ」「カネ」「情報」について、自社が持っているものは何でしょうか。その資源を活かしていくことで、新たな販売の視点が生まれます。



今月の言葉

「誠実な農民は悪人の王子よりも価値がある」

現在の1冊

『弱さに一瞬で打ち勝つ無敵の言葉 超訳ベンジャミン・フランクリン文庫版』
青木仁志著 アチーブメント出版
ベンジャミン・フランクリン (1706～1790) 政治家・実業家・文筆家

文章は「勤勉に働いている労働者は働かない権力者より尊敬される」と続きます。部下はいつも上司の仕事に対する姿勢を見ている。仕事に対して誠実な上司の部下は、上司のそんな姿を見て自分も共に働きたいと思い、自分を高めようと努力します。私もそんな上司になれるように誠実に仕事に取り組みたいと思います。但し、自分の勤勉さと他人の勤勉さは違うことを理解し、相手に押し付けないこと。相手にはどんなふうに見えるのかを意識しておくことは大事だと思います。



今月は、個人の確定申告期限であると同時に、3月決算の会社にとっては、年度最終時期です。もれのないよう処理をしましょう。

2021年3月

お仕事備忘録

1. 国外財産調書の提出
2. 財産債務調書の提出
3. 確定申告の税額の延納の届出書
4. 個人の青色申告の承認申請
5. 所得税の更正の請求
6. 障害者の法定雇用率の引き上げ
7. 同一労働同一賃金に関する法律の施行（中小企業）

編集部より

編集部の木下です。今月号はインターン生にまつわる話題が豊富です。インターン生OGにインタビューをしたのですが、それができる関係性なのが素晴らしいと思います。ちなみに、インターン卒業生インタビューはシリーズ化する予定ですので、乞うご期待です。



インターン卒業生にインタビューしてみました！



福本さんと所長

インターンシップ卒業生福本夏子さんにインタビューをしました。福本さんは2016年6月～2018年3月に1期生として勤務し、今は経理の仕事をされています。スタッフと現インターンシップ生がお話を聞かせていただきました。

白岡 よろしくお願ひします。インターンシップで役立ったことを教えてください。

福本 私がインターンシップを会計事務所でやろうと思ったのは、会計が実際どのように行われているのか知りたいと思ったことがきっかけでした。仕訳など実際にやってみて、知ったうえで仕事にしたいと思うようになったので、会計事務所でインターンシップができたことは私の仕事選びの役に立ちました。

会計以外で印象に残っていることは、事務所では自分の意見を発言する機会が多かったことです。当時はどう伝えればいいのか悩むことも多かったのですが、とてもいい経験になったと思います。社会人になって仕事で「福本さんはどう思う？」と聞かれることも多いので、自分の考えを話す機会が多くあったことは役に立ったことの一つだと思います。

白岡 インターンシップでもっとやってみたかったことはありますか？

福本 実際にお客様と会う機会がもっとあればよかったなと思います。実際に会うと会計処理もさらに具体的にわかったのではと今は思います。一か所訪問させていただいたのですが、とても思い出深いです。

社会人は楽しい！

白岡 インターンシップ生と社会人のギャップはありましたか？

福本 そうですね…当然なんですけど、責任の重さかな。どの立場でも責任感を持って働くのは当然のことですが、立場が違うと責任の重さが全然違うと感ずます。

今働いている会社はグループ会社の管理部門を受託していて、私は1つのグループ会社の日々の仕訳から申告までしています。パートさんが起票などしてくれるので、私は仕訳をチェックして上司に報告します。だからパートさんの仕事には責任を持たなければなりません。最初は間違いがあると結構堪えるなという感じだったんですが、裏を返せば責任を感じる仕事ほど面白いんです。初めは壁に当たってばかりでしたが、それでもやっていくうちに本当に勉強になる日々だと感ずています。ギャップですが、いいギャップです。

小向 すっかり社会人ですね。

福本 気持ちとしては3年前とかと何も変わっていないんですが(笑)

小向 財務から経理に転職しましたよね。理由はなんですか？

福本 退職した理由は人間関係です。ほとんどの方は良い方だったのですが、少し難しい方がおられたんです。新卒は1回しか使えないから辞めるのはもったいないとも思ったんですが、当時は働くのが辛くて仕方がなかった。

そんな時、インターンシップを卒業するときに頂いた写真を見て「働くのは楽しいこと」と教えてもらったと思いだしました。辛いと思いながら働いているのはおかしいと気付いて、それが後押しになりました。

小向 それに気づけたというのがいいですね。

福本 後悔はしてないです。楽しいところで働きたいって思いました。



現役インターン生たち



遠藤 辛い状況で働くのはおかしいと感じられるようになるためにも、私たちは楽しく働くことを大切にしていたんです。命を絶つほどの状態になってしまう前に気付くことができたなら、自分でそこから出ることができるじゃないですか。福本さんはそれをとて上手にやったということですね。

福本 ありがとうございます。

小向 **印象に残っている楽しかったことは何ですか？**

福本 日々楽しかったんですけど…登山ですね。私の中ではインパクトが強くて。
遠藤 六甲山登るってなかなかですよ。長田さんはそんなに大変じゃないよって言うけれど、いきなり岩山があったり。

福本 軽装備だったんです。長田さんがとても速いので必死に付いていきました。でもすごく楽しかったです。ハードだった～！って感じで。その後お酒を飲ませてもらったなら一緒に参加した同期のインターン生が…。

遠藤 その話はみんな知ってます(笑)。面白い学生ばかりでした。福本さんは週に2～3日来てくれたので、いろいろ参加してましたよね。

小向 福本さん待ちの仕事も多かったですね(笑)。



頂上の福本さんたち

筋金入りの会計好き

森田 **大学時代から会計を勉強されてたんですか？**

福本 大学の会計コースで勉強していました。

遠藤 福本さんは1期生の採用が終わった後に面接に来たんですが、長田さんがぜひとも言ったんです。新入スタッフが入った時に元帳の作り方を教えてあげると福本さんにお願したら、「私がですか！」って驚いてたのを覚えています(笑)

福本 本当に、一番緊張しましたね。

遠藤 私はできると知っていましたから(笑)

福本 それも良い経験でした。教えるのって難しいですよ。今もパートさんに教える機会があります。起票してもらうんですが、なぜこの仕訳があるのか、私は意味がわからないまま終わるのはいやなタイプなので、「この会計処理はですねっ！」って熱く語ります(笑)

木下 **いつから会計に興味を持ちましたか？**

福本 親が経理をしていて、私もその道に行こうと思ったのがきっかけで商学部に行きました。大学に行って勉強を始めると、言葉だけ並べられることが多くて、「なんて意味のわからないことばかりなんだろう」と思いました。全然想像ができないことが多くて、会計がどう仕事につながっているのか知りたくて会計事務所でインターンシップをすることにしました。

遠藤 お母さんの仕事から会計に興味を持って、会計事務所でインターンシップを経験し、経理の仕事に就いてというのは、興味はずっとつながっていますね。

福本 つながっていますね。決算申告で仕事が1周して流れが分かります。その瞬間にやりがいが見えてもう1周したくなる感覚がとても面白いんです。この1年で何があったのかがわかったら面白いと思います。

遠藤 決算書には会社の1年の物語が全部書いてありますもんね。

福本 そうです。本当に物語です。それが私が会計を好きな理由です！



社会人3年目ということで、所長と一緒に働いたスタッフは経過した年月に驚いていました。インタビュー中は度々笑いが巻き起こり、楽しい時間となりました。中にはインターンシップ制度を続けてよかったと所長が涙ぐむエピソードもありました。福本さん、たくさんお話をきかせていただきありがとうございました！



インターンシップ生が卒業しました



1月末に小澤宏亮くんが卒業しました。約17か月活躍してくださった小澤くん、アンケートに答えていただきました。

入社のきっかけはなんでしたか？

大学のゼミで会計学を専攻していることから会計の関する仕事に興味があり、インターンシップ制度に応募しました。



長田会計事務所はどんな印象ですか？

様々なアルバイトを経験しましたが、どの職場でも社員さんは仕事に追われ、疲れている様子でした。しかし、事務所のスタッフの皆さんは、いつも楽しそうにお仕事にしていらっしゃるので明るい職場だなと感じました。



どんな思い出がありますか？

事務所周辺の飲食店へ足を運び、皆さんとお昼ご飯を一緒に食べた時間はとても印象に残っています。また、業務としては初めて確定申告をした時や顧問先の決算評価に関わらせてもらったことが印象的な思い出です。

やってよかったことを教えてください。

1つ目は、お客様へのインタビューです。お話を伺うこと自体が貴重な体験ですし、質問する力を身に付けることも大切だと感じました。2つ目は、年末調整・確定申告業務です。今後必ず向き合わねばならないことなので学生のうちに詳しく学べて良かったです。

どんな将来を描いていますか？

春からは製造業の経理職として仕事をします。インターンシップを経験したことで会計の面白さを感じられ、私にとって身近な存在になりました。会計を通じて多くの人に幸せを届けられるような人になりたいと考えています。

落ち着きのある雰囲気と明るさを兼ね備えた小澤くんでした。お疲れ様でした！

長田会計事務所 facebook より



本日でインターンシップ生の小澤くんが卒業しました。



長田会計事務所ではfacebookで情報発信しています。HPやQRコードからでもご覧いただけます。チェックしてみてください♪



未来そうぞう塾より

オンライン未来そうぞう塾を準備中です。
お楽しみに♪

